

「宮城県内の抗菌薬・薬剤耐性菌サーベイランスを発展させた薬剤耐性菌の病原遺伝子に関する研究」

1. 研究の対象

2019年6月～2022年3月の期間に、当院で検出されたメチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）、基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ（ESBL）産生菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌（CRE）、多剤耐性緑膿菌（MDRP）、多剤耐性アシネトバクター（MDRA）の臨床分離株を対象とする。

2. 研究目的・方法

研究期間：2019年6月24日から2022年3月

研究目的：2013年より宮城県で実施されている抗菌薬および薬剤耐性菌に関する県全域サーベイランスを発展させ、参加医療施設から菌株を収集して、遺伝子タイピングや薬剤耐性遺伝子などの細菌学的解析を実施することにより、県内における種々の薬剤耐性菌の広がりについて疫学的・細菌学的解析を行い、地域内伝播のメカニズムとリスク因子を解明する。

研究方法：サーベイランス参加施設で検出された薬剤耐性菌株を収集し、POT法等による型別と、薬剤耐性遺伝子（ESBL産生菌はCTX-M型、TEM型、SHV型、CREとMDRP、MDRAの3菌種はIMP型、NDM型、KPC型、OXA型）を調査し、検出地域に関する情報から県内での分布と変遷、地域内拡大リスクなどを分析する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、診療科、検体種類、検出した医療機関に関する疫学情報 等

試料：血液、尿、便、気道分泌物 等

診療上の目的で採取された臨床検体から検出された薬剤耐性菌を対象とし、調査のための検体採取や菌検出は行わない。

4. 外部への試料・情報の提供

研究事務局へ所定の症例記録（Case Report Form:CRF）をメールもしくはFAXで送付し、菌株を郵送する。CRFには患者IDを記載するが、検体確認のみに使用される。

5. 研究組織

代表機関：

東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座 感染制御・検査診断学分野

東北大学病院が主体となり宮城県内で実施されている、抗菌薬および薬剤耐性菌に関する県全域サーベイランスへの参加医療施設 約 40 機関

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒989-3126 仙台市青葉区落合 4 丁目 3 番 17 号 022-391-5111

宮城県立こども病院 総合診療科・リウマチ・感染症科 桜井博毅（研究責任者）

研究代表者：東北大学大学院医学系研究科内科病態学講座
感染制御・検査診断学分野 徳田浩一 准教